

いしやまみなみこふん 赤堀の石山南古墳



石山南古墳は、群馬県伊勢崎市下触町にある古墳である。

1952(昭和27)年に尾崎喜左雄博士によって発掘調査が行われた。この古墳は、6世紀の古墳で大きさ直径24mの円墳だ。

しもふれいちょう



発掘調査の様子
(尾崎喜左雄考古遺物写真)

この古墳では、正装した女性埴輪や大型の馬形埴輪など、多数の埴輪が出土されている。

女子埴輪以外にも、墳丘の南方裾部から馬の埴輪、土器の破片も石山南古墳の外部調査で出土されている。



正装した女性埴輪の出土状況
(尾崎喜左雄考古遺物写真 石山南古墳)

埋葬施設は、袖無型の横穴式石室という形式である。奥幅は約1.50m、入り口幅は約1mの大きさである。天井石は、大部分が後世の人によって除去されているようだが、石室入り口付近には長さ2mの天井石が残存していることが発掘調査でわかっている。



横穴式石室の様子
(尾崎喜左雄考古遺物写真)